

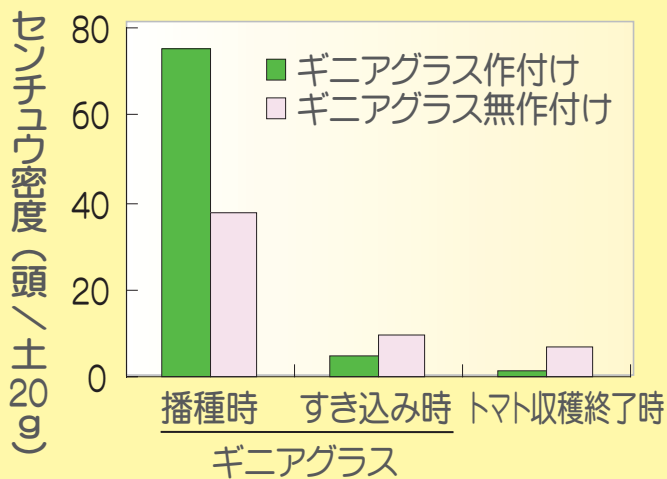
# ギニアグラス導入によるトマトのネコブセンチュウ 防除効果と肥培管理技術による増収効果

ギニアグラスの栽培でネコブセンチュウが減少し、緑肥としてすき込み後にトマトを栽培すると施肥量が減少でき、しかも収量が増加します。

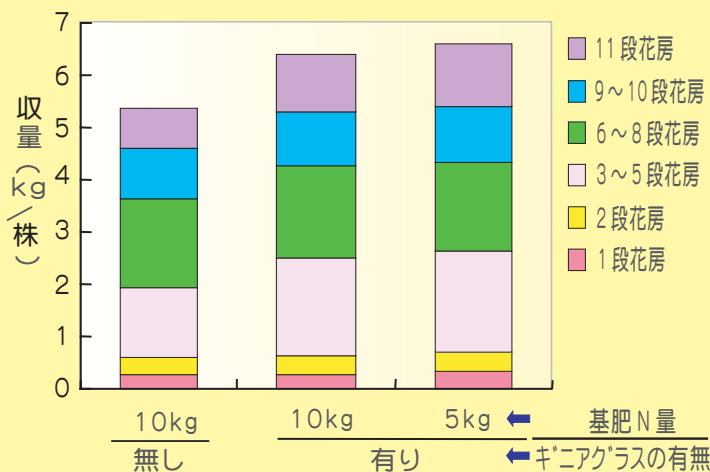


作目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
促成トマト		収穫										定植	
緑肥作物 (ギニアグラス)						播種	すき込み	腐熟					

促成トマトと緑肥作物（ギニアグラス）の輪作体系



ギニアグラス栽培によるネコブセンチュウ防除効果



ギニアグラスの有無と基肥窒素量がトマトの収量に及ぼす影響

## 緑肥すき込み後の肥培管理法

- 基肥窒素量は10a当たり5kg
- 追肥窒素量は10a当たり8kg



基肥が10kgから  
5kgへ減量!

